

発表事項

- 1 令和7事業年度医療介護情報化等特別会計予算、事業計画及び資金計画
- 2 令和7事業年度財政調整等特別会計予算、事業計画及び資金計画
- 3 令和7年1月審査分の審査状況
- 4 令和7年2月審査分の特別審査委員会審査状況

令和 7 事業年度 医療介護情報化等特別会計予算、 事業計画及び資金計画

医療情報化支援基金勘定
連結情報提供勘定
電子処方箋管理勘定

令和7事業年度 医療介護情報化等特別会計等の会計区分

【令和7年2月記者会見】

会計区分	勘定区分	内容
保健医療情報会計	情報基盤運用勘定	オンライン資格確認等システム及び中間サーバーの運用
	情報基盤整備勘定	加入者情報の正確性の確保等
		多様な場面でのオンライン資格確認の導入
		保健医療情報の提供の充実
		電子カルテ情報共有サービスの開発等
		介護情報基盤、予防接種記録・予診情報管理システム等への対応等
		共通算定モジュールの開発等
	情報分析活用勘定	NDB関連業務の実施
		健康スコアリングレポートの作成
		データヘルスポータルサイトの運用

※ 保健医療情報会計については、社会保険診療報酬支払基金法（基金法）に基づく業務を経理している。

【令和7年3月】

会計区分	勘定区分	内容
医療介護情報化等特別会計	医療情報化支援基金勘定	医療情報化に伴う医療機関等への支援
	連結情報提供勘定	履歴照会・回答システムの運用
	電子処方箋管理勘定	電子処方箋管理サービスの運用及び追加開発等

※ 医療介護情報化等特別会計については、地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律（総確法）に基づく業務を経理している。

医療情報化支援基金勘定 1/9

収入予算

令和6年度予算 1,340.0億円 ⇒ 令和7年度予算 1,093.5億円 (▲246.5億円)

【内訳】

- 医療情報化支援基金からの受入金の増 647.2億円 → 704.6億円 (+57.4億円)
〔・保険医療機関・薬局等へのシステム整備費補助金等支出の増に伴う受入金の増〕
- 補助金収入の減 520.8億円 → 386.4億円 (▲134.4億円)
〔・マイナ保険証利用促進のための支援事業に係る補助金収入の減 ▲145.8億円
・医療扶助のオンライン資格確認の補助事業に係る補助金収入の増 +58.2億円 等〕
- 交付金収入の減 172.0億円 → ー 億円 (▲172.0億円)
〔・医療情報化支援基金（以下「支援基金」という。）財源の補助事業について追加交付がないことによる交付金収入の減〕
- 雑収入の増 0.1億円 → 2.5億円 (+2.5億円)
〔・利子収入の増〕

支出予算

令和6年度予算 1,340.0億円 ⇒ 令和7年度予算 1,093.5億円 (▲246.5億円)

【内訳】

- システム整備費補助金等支出の減 1,101.9億円 → 1,021.6億円 (▲80.3億円)
〔・マイナ保険証利用促進のための支援（協力金等）の補助対象施設変更等に伴う補助金支出の減 ▲145.4億円
・電子処方箋の導入促進に伴う補助金支出の増 +62.8億円 等〕
- 事務取扱費等の増 66.1億円 → 69.4億円 (+3.3億円)
〔・派遣職員の業務量の増に伴う派遣職員経費の増 +4.0億円
・補助事業（保険医療機関・薬局のオンライン資格確認）の終了等に伴う周知広報経費の減 ▲2.3億円 等〕
- 交付金の支援基金繰入額の減 172.1億円 → 2.5億円 (▲169.5億円)
〔・交付金収入の減等に伴う支援基金への繰入額の減〕

1,091.0億円
(▲77.0億円)

医療情報化支援基金勘定 2/9

令和7年度予算のポイント

【補助金収入・支援基金からの受入金】

- 支援基金を財源とした補助事業は、保険医療機関・薬局のオンライン資格確認（①）に係る補助事業が終了したこと等により減額するものの、一方で電子カルテ情報の標準化（②）や電子処方箋（③）の導入が令和6年度よりも進むことにより、支援基金からの受入金（必要額の取崩し額）の増額が上回り、収入予算額は57.4億円の増加。
- 国からの補助金を財源とした補助事業は、生活保護指定機関（医療扶助）のオンライン資格確認の補助事業（⑥）に係る補助金が、交付見込施設数の増加（4.2万⇒11.2万施設）により増額するものの、一方でマイナ保険証利用促進のための支援（⑦）については、支援対象施設が「保険医療機関・薬局」から「訪問看護ステーション・柔整あはき施術所」に変更になったことにより、補助金が大幅に減額となったことから、134.4億円の減少。

全体としては77.0億円の減少であり、各事業における収入の内訳については、以下のとおり。

（単位：億円）

事業内容		令和6年度予算	令和7年度予算	対前年度比		財 源
①	保険医療機関・薬局のオンライン資格確認	62.4	3.8	(※1)	▲58.6	医療情報化支援基金 (ICT基金) 令和6年度末残高（見込） 934.9億円 ▼ 令和7年度末残高（見込） 230.3億円
②	電子カルテ情報の標準化	33.1	83.5		+50.4	
③	電子処方箋	482.3	547.9		+65.6	
④	訪問看護ステーション・職域診療所のオンライン資格確認	69.4	69.3		▲0.0	
小 計		647.2	704.6		+57.4	
⑤	訪問診療・柔整あはき等のオンライン資格確認	169.8	180.5	(※2)	+10.6	地域診療情報連携推進費補助金 社会保障・税番号制度システム整備費等補助金
⑥	生活保護指定機関（医療扶助）のオンライン資格確認	17.2	75.3		+58.2	
⑦	マイナ保険証利用促進のための支援（協力金）	199.2	53.4		▲145.8	
	顔認証付きカードリーダー増設等の支援	16.9	-		▲16.9	
⑧	公費負担医療の受給者証等とマイナンバーカード一体化	41.7	29.1		▲12.6	
⑨	電子処方箋の機能拡充（追加補助に限る）	76.0	42.6		▲33.4	
⑩	マイナ保険証利用促進のための周知広報	-	5.5		+5.5	
小 計		520.8	386.4		▲134.4	
合 計		1,168.0	1,091.0		▲77.0	

※1 ①～④は支援基金として年度末残高を留保しており、令和7年度予算では、令和6年度末残高から事業に必要な額を予算計上。

※2 ⑤～⑩は令和6年度補正予算額の全額を国が繰越。

医療情報化支援基金勘定 3/9

医療機関等情報化補助業務に係る全体スケジュール

区分	事業	財源	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
①	保険医療機関・保険薬局の オンライン資格確認	支援基金 (ICT基金)		能登半島地震の影響があった施設のみ 新規申請可		
②	電子カルテ情報の標準化		補助金の申請 (申請期間：令和6年3月～令和13年9月)			
③	電子処方箋		補助金の申請 (申請期間：令和5年2月～令和7年9月)	申請期間の延長 (～令和8年3月末)		
④	訪問看護ステーションのオンライン 資格確認		補助金の申請 (申請期間：令和6年2月～令和7年5月)	経過措置対象施設の場合 (～令和8年3月末)		
	職域診療所のオンライン資格確認		準備業務 補助金の申請 (申請期間：令和6年11月～令和7年12月末)			
⑤	訪問診療・柔整あはき等の オンライン資格確認	補正予算 (単年度事業)	補助金の申請 (～令和7年2月)	補助金の申請 (申請期間：令和7年4月～令和8年1月予定)		
	顔認証付きCR故障時等のオンライ ン資格確認（居宅同意取得型）		準備業務 補助金の申請 (申請期間：未定)			
	柔整あはき等のレセコンAPI連携		準備業務 補助金の申請 (申請期間：未定)			
	マイナ保険証のスマホ搭載		事業スケジュール・補助方法について 厚生労働省と調整中			
⑥	生活保護指定機関（医療扶助） のオンライン資格確認		補助金の申請 (～令和7年2月)	補助金の申請 (申請期間：令和7年4月～12月予定)		
⑦	マイナ保険証利用促進支援 （訪問看護ステーション・柔整 あはき施設等への協力金）		準備業務 協力金の交付 (R7年の夏頃予定) ◎			
⑧	公費負担医療の受給者証等と マイナンバーカード一体化		補助金の申請 (～令和7年2月)	補助金の申請 (申請期間：令和7年4月～令和8年1月予定)		
⑨	電子処方箋の機能拡充 (リフィル処方箋・院内処方等の 追加補助に限る)		補助金の申請 (～令和7年2月)	補助金の申請 (申請期間：令和7年4月～令和8年1月予定)		
			準備業務 (院内処方) 補助金の申請 (申請期間：未定)			

※下線は令和7年度の新規補助・支援

医療情報化支援基金勘定 4/9

各事業の補助・支援概要

区分	事業	補助・支援概要
①	保険医療機関・薬局のオンライン資格確認（既存型）	保険医療機関・薬局を対象として、オンライン資格確認の導入に必要な顔認証付きカードリーダーの無償提供及び資格確認端末等の購入費用、レセプトコンピューター等の改修費用に係る補助金を交付
②	電子カルテ情報の標準化	病院を対象として、電子カルテ情報共有サービスに接続することを前提に、電子カルテ情報・文書をFHIRに基づいた形式に変換し、電子的に送受信するために必要な改修（電子カルテ情報標準規格準拠対応）費用に係る補助金を交付
③	電子処方箋	・保険医療機関・薬局を対象として、電子処方箋管理サービスを導入することを前提に、HPKIカード等のICカードリーダー等の購入費用、レセプトコンピューター及び電子カルテシステム等の改修費用に係る補助金を交付 ・電子処方箋と同時にリフィル処方箋等の追加機能の導入に係る改修費用について補助金を交付
④	訪問看護ステーションのオンライン資格確認（居宅同意取得型）	訪問看護ステーションを対象として、居宅同意取得型のオンライン資格確認の導入に必要なモバイル端末の購入等、レセプトコンピューター等の改修費用について補助金を交付
	職域診療所のオンライン資格確認（既存型）	職域診療所を対象として、オンライン資格確認の導入に必要な顔認証付きカードリーダーの無償提供及び資格確認端末等の購入費用、レセプトコンピューター等の改修費用に係る補助金を交付
⑤	訪問診療等のオンライン資格確認（居宅同意取得型）	訪問診療・オンライン診療・通常とは異なる動線の外来（発熱外来等）を実施している保険医療機関・薬局等を対象として、居宅同意取得型のオンライン資格確認を行うためのレセプトコンピューターの改修、モバイル端末等の購入費用に係る補助金を交付
	柔整・あはき等のオンライン資格確認（資格確認限定型）	柔整・あはき施術所、義務化対象外の保険医療機関・薬局、健診実施機関、助産所を対象として、資格確認限定型のオンライン資格確認を行うためのモバイル端末等の購入費用について補助金を交付
	顔認証付きCR故障時等のオンライン資格確認（居宅同意取得型）	保険医療機関・薬局を対象として、顔認証付きカードリーダー故障時等に居宅同意取得型のオンライン資格確認を実施できるようオンライン資格確認を行うためのレセプトコンピューターの改修、モバイル端末等の購入費用に係る補助金を交付
	柔整あはき等のレセコンAPI連携	柔整・あはき施術所等を対象として、療養費の支給申請書等の作成時にマイナ資格確認アプリで確認した資格情報のレセプトコンピューター連携（情報転記）を行うためのレセプトコンピューターの改修費用について補助金を交付
	マイナ保険証のスマホ搭載	保険医療機関・薬局を対象として、マイナ保険証をスマートフォンに搭載した場合でもオンライン資格確認を実施できるようスマートフォンを読み取りできる汎用性カードリーダー等についての購入補助（実施方法は検討中）
⑥	生活保護指定機関（医療扶助）のオンライン資格確認	保険医療機関・薬局を対象として、生活保護受給者がマイナンバーカードを利用した資格確認を行うためのレセプトコンピューター等の改修費用について補助金を交付
⑦	マイナ保険証利用促進のための支援（訪問看護ステーション・柔整あはき施術所への協力金）	訪問看護ステーション・柔整あはき施術所に対し「患者へのマイナ保険証の積極的な利用勧奨に取り組むこと」を交付条件として、協力金を交付
⑧	公費負担医療の受給者証等とマイナンバーカード一体化	保険医療機関・薬局を対象として、公費等の受給者証又は診察券とマイナ保険証の一体化のためにレセプトコンピューター又は再来受付機の改修費用について補助金を交付
⑨	電子処方箋の機能拡充（追加補助に限る）	電子処方箋導入後にリフィル処方箋・院内処方等の追加機能を導入した保険医療機関・薬局を対象として、追加機能導入に係る改修費用について補助金を交付

※下線は令和7年度の新規補助・支援

医療情報化支援基金勘定 5/9

令和7事業年度 医療機関等情報化補助業務事業計画の概要

令和7事業年度医療機関等情報化補助業務事業計画は以下のとおり。

- ・「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」第24条第1項第1号及び第3号の規定に基づき、保険医療機関等へ支援する補助金等の支出を行う。

法第33条第1項の規定により設けた医療情報化支援基金から

① 保険医療機関等のオンライン資格確認	3.8億円	} 計704.6億円を取崩し、
② 電子カルテ情報の標準化	83.5億円	
③ 電子処方箋	547.9億円	
④ 訪問看護ステーション・職域診療所のオンライン資格確認	69.3億円	

保険医療機関等へ支援する補助金として683.0億円を支出する（※1）ことを予定している。

また、地域診療情報連携推進費補助金及び社会保障・税番号制度システム整備費等補助金として

⑤ 訪問診療・柔整あはき等のオンライン資格確認	180.5億円	} 計386.4億円を受け入れ、
⑥ 生活保護指定機関（医療扶助）のオンライン資格確認	75.3億円	
⑦ マイナ保険証利用促進のための支援（協力金）	53.4億円	
⑧ 公費負担医療の受給者証等とマイナンバーカード一体化	29.1億円	
⑨ 電子処方箋の機能拡充（追加補助事業に限る）	42.6億円	
⑩ マイナ保険証利用促進のための周知広報経費	5.5億円	

保険医療機関等へ支援する補助金等として338.5億円を支出する（※2）ことを予定している。

※1 取崩額（704.6億円）と保険医療機関等へ支援する補助金（683.0億円）の差額（21.5億円）は事務取扱費として計上している。

※2 受入額（386.4億円）と保険医療機関等へ支援する補助金等（338.5億円）の差額（47.8億円）は事務取扱費として計上している。

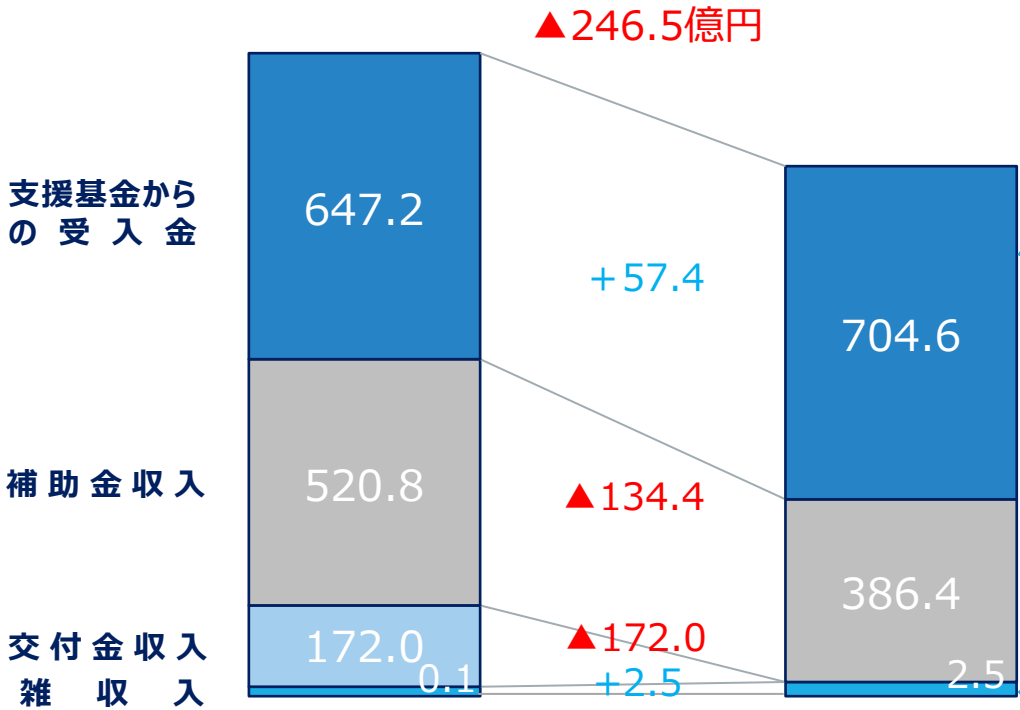
医療情報化支援基金勘定 6/9

単位：億円

収入

令和6事業年度
1,340.0億円

令和7事業年度
1,093.5億円



- 支援基金からの受入金については、保険医療機関・薬局等へのシステム整備費補助金等支出の増額に伴い57.4億円の増。
- 補助金収入については、生活保護指定機関（医療扶助）のオンライン資格確認の補助事業（⑥）に係る補助金が増額となったが、マイナ保険証利用促進のための支援事業（⑦）に係る補助金収入が大幅に減額となったことから、全体として補助金収入が134.4億円の減。
- 交付金収入については、電子処方箋（③）に係る交付金収入の減により172.0億円の減。

<支援基金からの受入金の内訳>

単位：億円

	事業内容	①令和6年度	②令和7年度	差（②-①）
①	保険医療機関・保険薬局のオン資	62.4	3.8	▲ 58.6
②	電子カルテ情報の標準化	33.1	83.5	+ 50.4
③	電子処方箋	482.3	547.9	+ 65.6
④	訪問看護ST・職域診療所のオン資	69.4	69.3	▲ 0.0
	合計	647.2	704.6	+ 57.4

<補助金収入の内訳>

単位：億円

	事業内容	①令和6年度	②令和7年度	差（②-①）
⑤	訪問診療・柔整あはき等のオン資	169.8	180.5	+ 10.6
⑥	生活保護指定機関（医療扶助）のオン資	17.2	75.3	+ 58.2
⑦	マイナ保険証利用促進のための支援（協力金）	199.2	53.4	▲ 145.8
	顔認証付きカードリーダー増設等の支援	16.9	-	▲ 16.9
⑧	公費負担医療の受給者証等とマイナー一体化	41.7	29.1	▲ 12.6
⑨	電子処方箋の機能拡充（追加補助に限る）	76.0	42.6	▲ 33.4
⑩	マイナ保険証利用促進のための周知広報	-	5.5	+ 5.5
	合計	520.8	386.4	▲ 134.4

<交付金収入の内訳>

単位：億円

	事業内容	①令和6年度	②令和7年度	差（②-①）
①	保険医療機関・保険薬局のオン資	-	-	-
②	電子カルテ情報の標準化	-	-	-
③	電子処方箋	172.0	-	▲ 172.0
④	訪問看護ST・職域診療所のオン資	-	-	-
	合計	172.0	-	▲ 172.0

医療情報化支援基金勘定 7/9

単位：億円

支出

令和6事業年度
1,340.0億円

令和7事業年度
1,093.5億円

▲246.5億円

システム整備費
補助金等支出

1,101.9

▲80.3

1,021.6

事務取扱費

・職員諸給与及び退職給付
引当預金への繰入
・管理諸費

支援基金への
繰入金
予備費

66.0

172.1

0.0

+3.3

▲169.5

69.4

0.0

2.5

- システム整備費補助金等支出については、マイナ保険証利用促進のための支援（⑦）の補助対象件数の減等により80.3億円の減。
- 事務取扱費については、派遣職員経費の増等により3.3億円の増。
- 支援基金への繰入金については、交付金収入の減により169.5億円の減。

＜システム整備費補助金等支出の内訳＞

単位：億円

	事業内容	①令和6年度	②令和7年度	差（②-①）
①	保険医療機関・保険薬局のオン資	53.4	1.0	▲ 52.3
②	電子カルテ情報の標準化	31.5	81.7	+ 50.2
③	電子処方箋	471.2	533.9	+ 62.8
④	訪問看護ST・職域診療所のオン資	65.0	66.3	+ 1.3
	小計	621.1	683.0	+ 62.0
⑤	訪問診療・柔整あはき等のオン資	152.4	163.3	+ 10.9
⑥	生活保護指定機関（医療扶助）のオン資	12.8	67.1	+ 54.3
⑦	マイナ保険証利用促進のための支援（協力金）	190.9	45.5	▲ 145.4
	顔認証付きカードリーダー増設等の支援	14.0	—	▲ 14.0
⑧	公費負担医療の受給者証等とマイナー体化	38.2	26.3	▲ 11.8
⑨	電子処方箋の機能拡充（追加補助に限る）	72.6	36.3	▲ 36.2
	小計	480.9	338.5	▲ 142.3
	合計	1,101.9	1,021.6	▲ 80.3

＜支援基金への繰入金の内訳＞

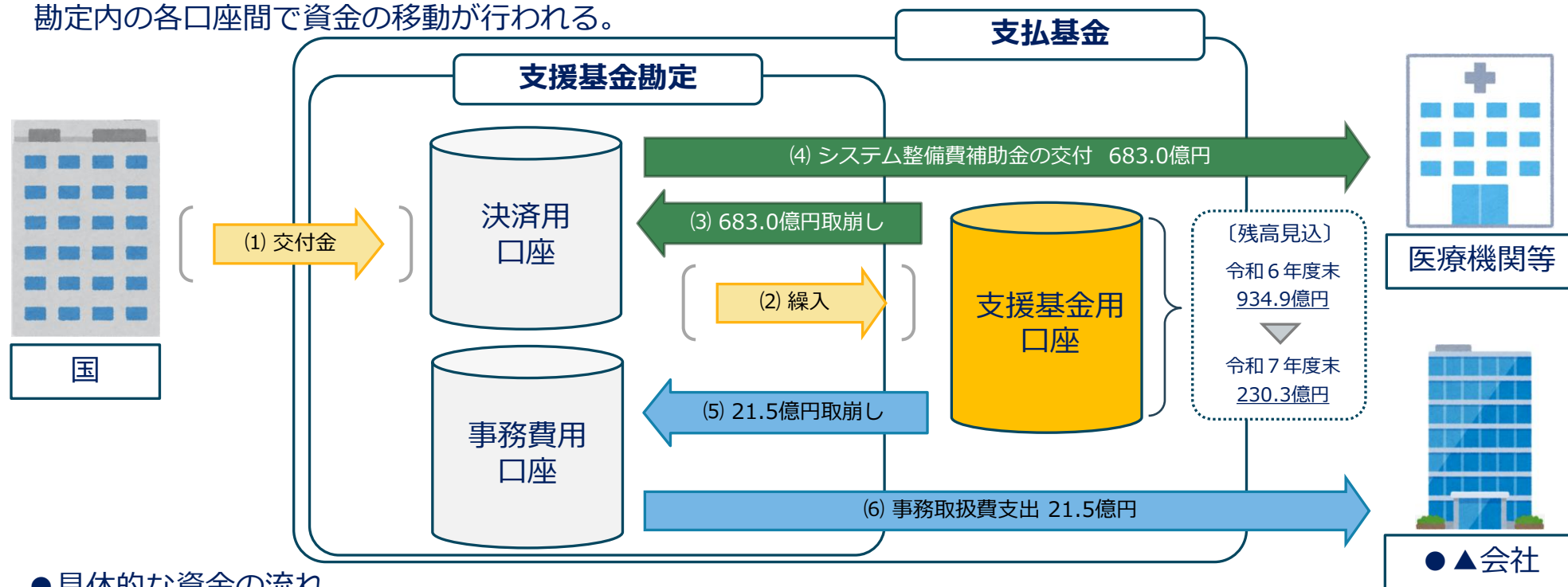
単位：億円

	内訳	①令和6年度	②令和7年度	差（②-①）
	交付金収入	172.0	—	▲ 172.0
	運用利子収入	0.1	2.5	+ 2.5
	合計	172.1	2.5	▲ 169.5

医療情報化支援基金勘定 8/9 : 【参考】収入支出予算の仕組み（医療情報化支援基金）

医療情報化支援基金（ICT基金）

医療情報化支援基金勘定の医療提供体制設備整備交付金はオンライン資格確認、電子処方箋、電子カルテ情報の標準化の補助事業に必要な経費であり、支援基金本体、医療機関等への補助金及び事務取扱費（職員諸給与等、管理諸費）を区分して管理することができるよう3つ（支援基金用、決済用、事務費用）の口座を設置しており、勘定内の各口座間で資金の移動が行われる。



● 具体的な資金の流れ

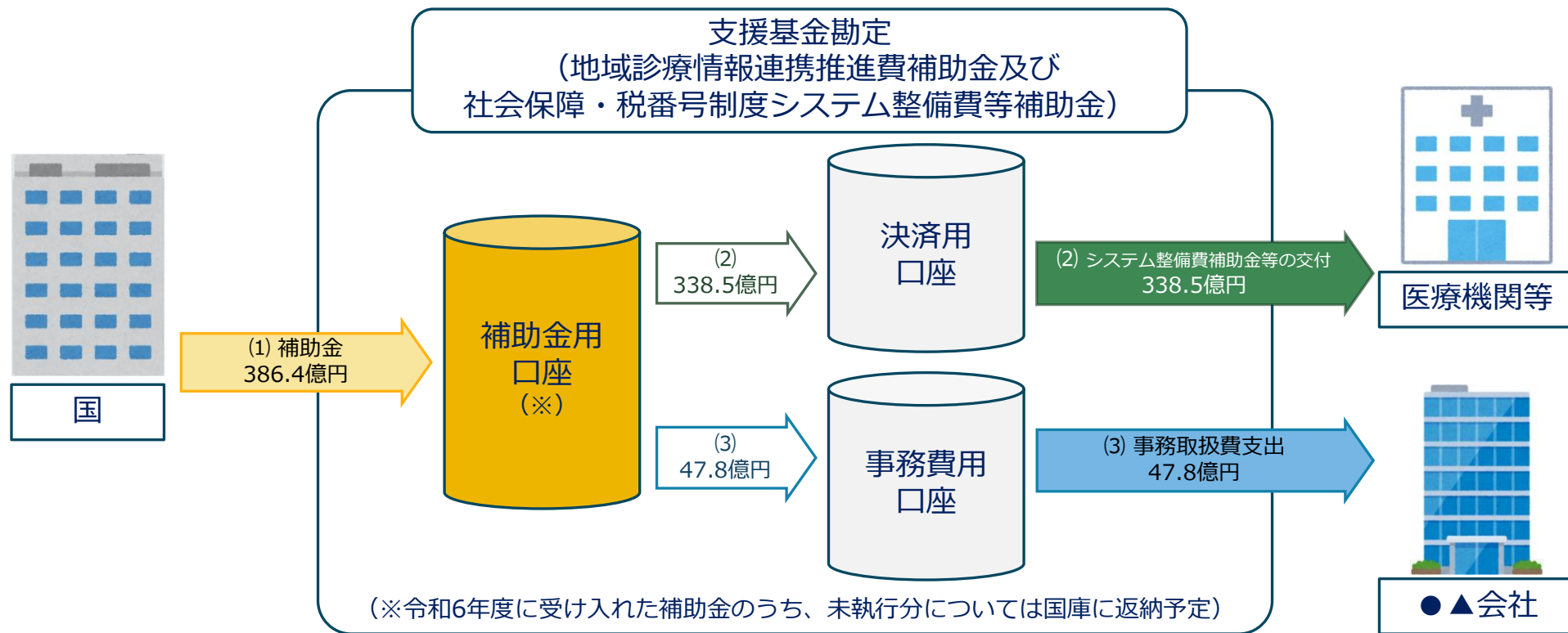
- (1) 国からの交付金を決済用口座に受入（令和7年度は受入なし）
- (2) 受け入れた交付金を決済用口座から支援基金用口座へ資金移動（同上）
- (3) 補助金の支出に充てるため支援基金用口座から決済用口座に資金移動（683.0億円）
- (4) 決済用口座から医療機関等への補助金を支出（683.0億円）
- (5) 事務取扱費の支出に充てるため支援基金用口座から事務費用口座に資金移動（21.5億円）
- (6) 事務費用口座から事業者、職員等への事務取扱費を支出（21.5億円）

となり、会計処理上、(1)、(3)及び(5)を収入、(2)、(4)及び(6)を支出として計上している。

医療情報化支援基金勘定 9/9 : 【参考】収入支出予算の仕組み（地域診療情報連携推進費補助金等）

地域診療情報連携推進費補助金 及び 社会保障・税番号制度システム整備費等補助金

医療情報化支援基金勘定の地域診療情報連携推進費補助金及び社会保障・税番号制度システム整備費等補助金は、訪問診療・オンライン診療、柔整あはき、生活保護指定機関（医療扶助）等のオンライン資格確認等の補助事業やマイナ保険証利用促進のための支援に必要な経費であり、支援基金用口座とは別に補助金を受け入れるための補助金用口座を設置し、決済用口座又は事務費用口座を使用して補助金等の支出を管理する。



●具体的な資金の流れ

- (1) 国からの補助金を補助金用口座に受入（令和7年度は386.4億円受入）
 - (2) 補助金用口座から決済用口座に移動し医療機関等への補助金を支出（338.5億円）
 - (3) 補助金用口座から事務費用口座に移動し、事業者、職員等への事務取扱費を支出（47.8億円）
- となり、会計処理上、(1)を収入、(2)及び(3)を支出として計上している。

連結情報提供勘定 1/5

収入予算

令和6年度予算 85百万円 ⇒ 令和7年度予算 104百万円 (+18百万円)

【内訳】 ○連結情報照会者からの手数料収入の増	69百万円	→	91百万円	(+22百万円)
〔・連結情報提供手数料単価改正(1,000件までごとに55円→70円)等による増〕				
○補助金収入※1の減	9百万円	→	7百万円	(▲ 3百万円)
〔・実施機関における補助金充当実績が僅少のため、段階的に減額されたことによる減〕				
○受入金の減	4百万円	→	1百万円	(▲ 3百万円)
〔・決算剰余金からの受入〕				
○共同運営調整金の増	3百万円	→	5百万円	(+ 2百万円)
〔・実施機関(支払基金と国保中央会)の費用調整〕				

※1 運営に必要な経費のうち、手数料収入で賄えない場合に充当するための補助金を計上

支出予算

令和6年度予算 85百万円 ⇒ 令和7年度予算 104百万円 (+18百万円)

【内訳】 ○給与諸費等の増	21百万円	→	23百万円	(+ 2百万円)
〔・給与等支給単価の増〕				
○管理諸費の増	64百万円	→	75百万円	(+11百万円)
〔・物価高騰の影響による、システム運用保守経費の増等〕				
○予備費※2の増	1百万円	→	6百万円	(+ 5百万円)
〔・手数料収入が増額となることにより、補助金収入のうち当初見込まれる補助金充当額以外の収支見合い額の増〕				

※2 不測事態対応経費に加え、※1のうち、当初見込まれる補助金の充当額以外(5百万円)の補助金収入見合い額を計上

連結情報提供勘定 2/5

令和7年度予算のポイント

【収入予算の主な増減要因】

○連結情報照会者からの手数料収入 +22百万円

令和7年度から連結情報提供手数料単価が改正（1,000件までごとに55円→70円※）されたこと等による増

※ 令和6年11月20日公布、令和7年4月1日施行（令和6年政令第352号）（令和6年度:1,000件までごとに55円）

○国から交付される補助金収入 ▲ 3百万円

手数料収入が不足した場合に充当する収入であり、実施機関における補助金充当実績が僅少のため、段階的に減額されたことによる減

【支出予算の主な増減要因】

○管理諸費 +11百万円

昨今の社会情勢における賃金水準の上昇や価格高騰による運用保守事業者の人件費増に伴うシステム運用保守経費の増等

○予備費 + 5百万円

連結情報提供手数料単価が改正し、手数料収入が増額となることにより、補助金収入のうち、当初見込まれる補助金充当額以外の収支見合い額（5百万円）の増

連結情報提供勘定 3/5

令和7事業年度 支払基金連結情報提供業務事業計画の概要

令和7事業年度支払基金連結情報提供業務事業計画は以下のとおり。

「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」第24条第1項第2号の規定に基づき、連結情報照会者に対し、厚生労働省令で定める情報の提供を行うための履歴照会・回答システムを安定的に運用する。

連結情報照会者から納付される手数料	91百万円	} 計103百万円を受け入れ、
政府から支払基金に交付される補助金	7百万円	
国保中央会との調整金として共同運営調整金	5百万円	
上記手数料等により、事務取扱費 98百万円 を支出することを予定している。		

※ 受入額（104百万円※R5決算剰余金1百万円含む）と事務取扱費（98百万円）の差額（6百万円）は、予備費として計上している。

連結情報提供勘定 4/5

（参考）連結情報提供業務の概要

- NDBなどのDBに対して、オンライン資格確認等システムの基盤を活用し（履歴照会・回答システム）、個人単位化された被保険者番号等の履歴情報を利用して、医療等情報の連結に必要な情報（連結情報）を提供する仕組み。
 - ✓ DBの精度向上（データベース内のデータの質の向上）が目的。また、これにより、異なるDB間におけるデータの正確な連結も可能となる。
- 支払基金においては、現在、NDB（レセプトデータ、特定健診）、DPC-DB、難病DB、小慢DBを取り扱っている。令和7年度からは次世代DBにも提供を行う予定である。また、国保中央会（連合会からの委託）においては、介護DBを取り扱っている。
- 費用については、連結情報照会者からの手数料収入（1,000件までごとに70円※）を基本としており、手数料収入に不足が生じる場合には、補助金により賄われる。
 - ✓ 令和5年度決算においては、手数料収入に剰余が生じたため、補助金は使用されず。また、剰余金については、翌々年度（7年度）予算の収入に計上される。
 - ✓ 実施機関（支払基金と国保中央会）の間で収支差分に基づく費用調整を実施（共同運営調整金）。

連結情報照会者（厚生労働省令で規定）

- ・NDB（レセプト・特定健診等データ）
支払基金・国保連合会
- ・介護DB（介護レセプト等データ）
国保連合会
- ・DPC-DB（DPCデータ）
健康保険医療情報総合研究所（プリズム社）
- ・難病DB/小児慢性DB（同意指定難病関連情報等）
厚生労働省

令和7事業年度のポイント

「その他の保健医療情報等情報を収集する者」として、次世代DBといった新たな連結情報照会者の追加に向けた対応を行う

(1) 連結情報を求める



(4) 連結情報を提供する



(5) 手数料を納める



支払基金・国保中央会

（連合会からの委託）

履歴照会・回答システム

(3) 最初の被保険者番号を回答



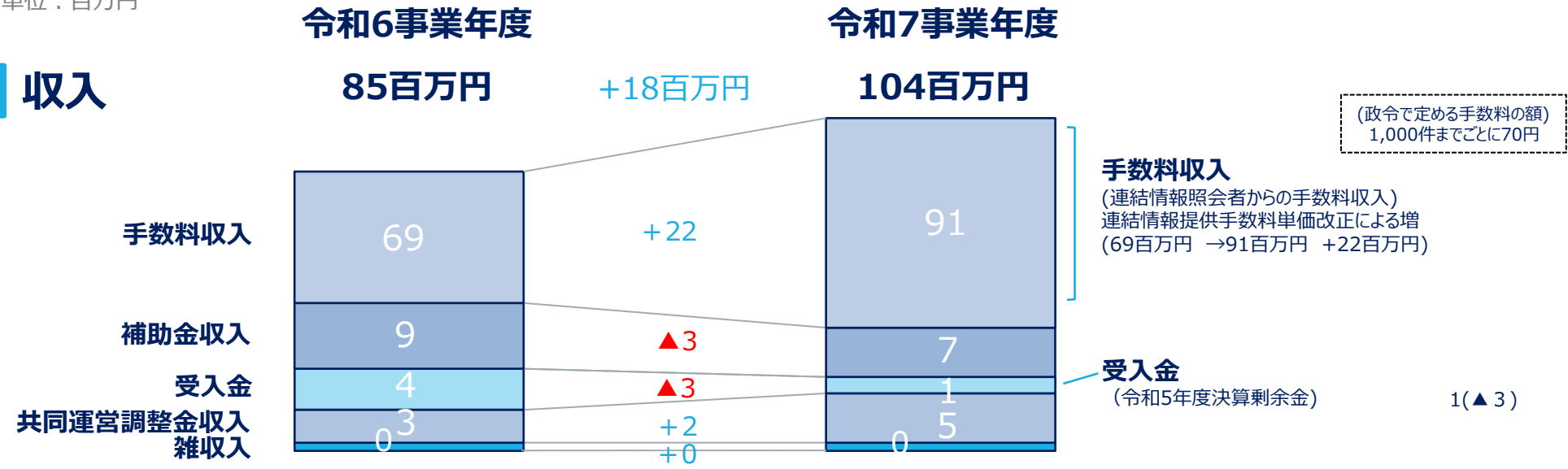
(2) 照会

オンライン資格確認等システム

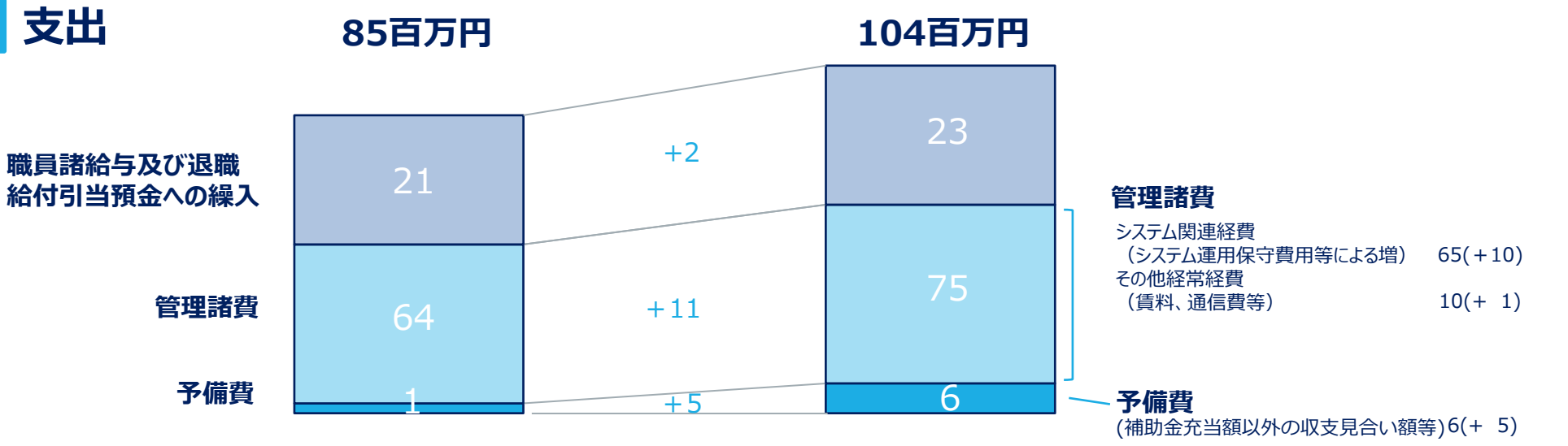
連結情報提供勘定 5/5

単位：百万円

収入



支出



電子処方箋管理勘定 1/6

収入予算

令和6年度予算 9.7億円 ⇒ 令和7年度予算 22.5億円 (+12.8億円)

【主な内訳】

※詳細は後掲

○運営負担金単価引上げによる負担金収入の増	5.8億円 → 6.6億円 (+0.8億円)
○補助金収入の増	3.8億円 → 15.5億円 (+11.7億円)
〔・令和7年度機能改善案件の増〕	
○受入金の増	－ 億円 → 0.3億円 (+0.3億円)
〔・決算剰余金からの受入〕	

支出予算

令和6年度予算 9.7億円 ⇒ 令和7年度予算 22.5億円 (+12.8億円)

【主な内訳】

○給与諸費の増	1.4億円 → 1.7億円 (+0.2億円)
〔・開発体制の人員増等による増〕	
○管理諸費の増 ※詳細は後掲	8.0億円 → 20.6億円 (+12.6億円)
〔・機能改善案件の増等によるシステム関連経費の増〕	うち システム関連経費 (運用関係) 5.2億円 (開発関係) 14.9億円 その他経常経費 0.5億円
○共同運営調整金	0.1億円 → 0.2億円 (+0.0億円)
〔・実施機関（支払基金と国保中央会）の費用調整〕	
○予備費	0.1億円 → 0.1億円 (▲0.0億円)

電子処方箋管理勘定 2/6

令和7年度予算のポイント

【収入予算の主な増減要因】

<運用関係>

○負担金収入 +0.8億円

- 運用経費増加に伴う運営負担金月額単価の引上げによる増

令和7年度

	加入者数	電子処方箋	
		運営負担金月額単価	収入
協会けんぽ	39,668千人 (+101)	0.69円 (+0.08)	3.3億円 (+0.4)
健保組合	28,019千人 (▲169)	0.69円 (+0.08)	2.3億円 (+0.3)
共済組合等	9,778千人 (▲42)	0.69円 (+0.08)	0.8億円 (+0.1)
生活保護の実施機関	2,019千人 (▲9)	0.76円 (+0.15)	0.2億円 (+0.0)
計	79,483千人 (▲119)	-	6.6億円 (+0.8)

○受入金 +0.3億円

- 決算剰余金からの初回受入

<開発関係>

○補助金収入 +11.7億円

- 令和6年度において調剤済み処方箋の保存サービス、院内処方等の連携機能に係る開発が終了した一方、電子処方箋管理サービス、調剤済み処方箋の保存サービスに係る機能改善等に向けた案件の増

電子処方箋管理勘定 3/6

令和7年度予算のポイント 【支出予算の主な増減要因】

○管理諸費の増 +12.6億円

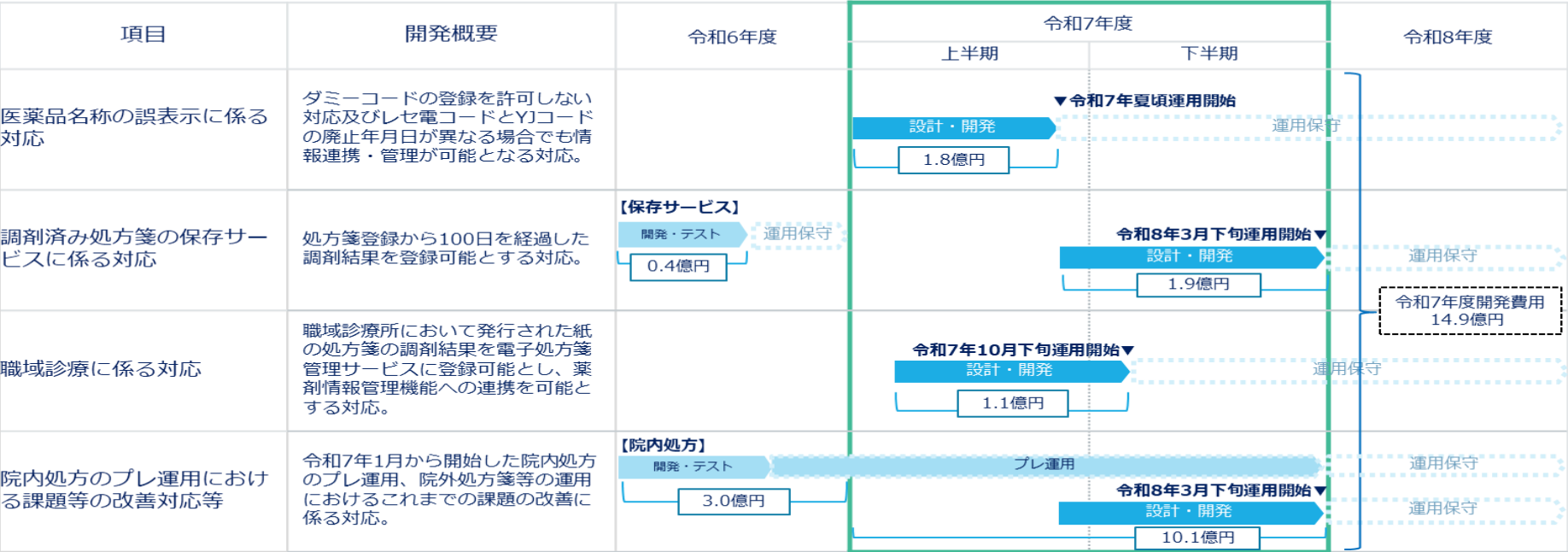
<運用関係>

- 令和7年度においては、電子処方箋導入施設数増加を見込んだクラウド利用料の増、昨今の社会情勢における賃金水準の上昇や価格高騰による運用保守事業者の人件費増等に伴うシステム運用保守経費の増 +1.1億円

<開発関係>

- 一部の医療機関等におけるシステム設定不備により医師の処方と異なる医薬品名が表示される不具合への対応、処方箋登録から100日を経過した調剤結果を調剤済み処方箋の保存サービスに登録可能とする対応等の機能改善に向けたシステム改修経費の増 +11.5億円

<システム開発（改修）スケジュール(現時点での想定)>



令和7事業年度 支払基金電子処方箋管理業務事業計画の概要

令和7事業年度支払基金電子処方箋管理業務事業計画は以下のとおり。

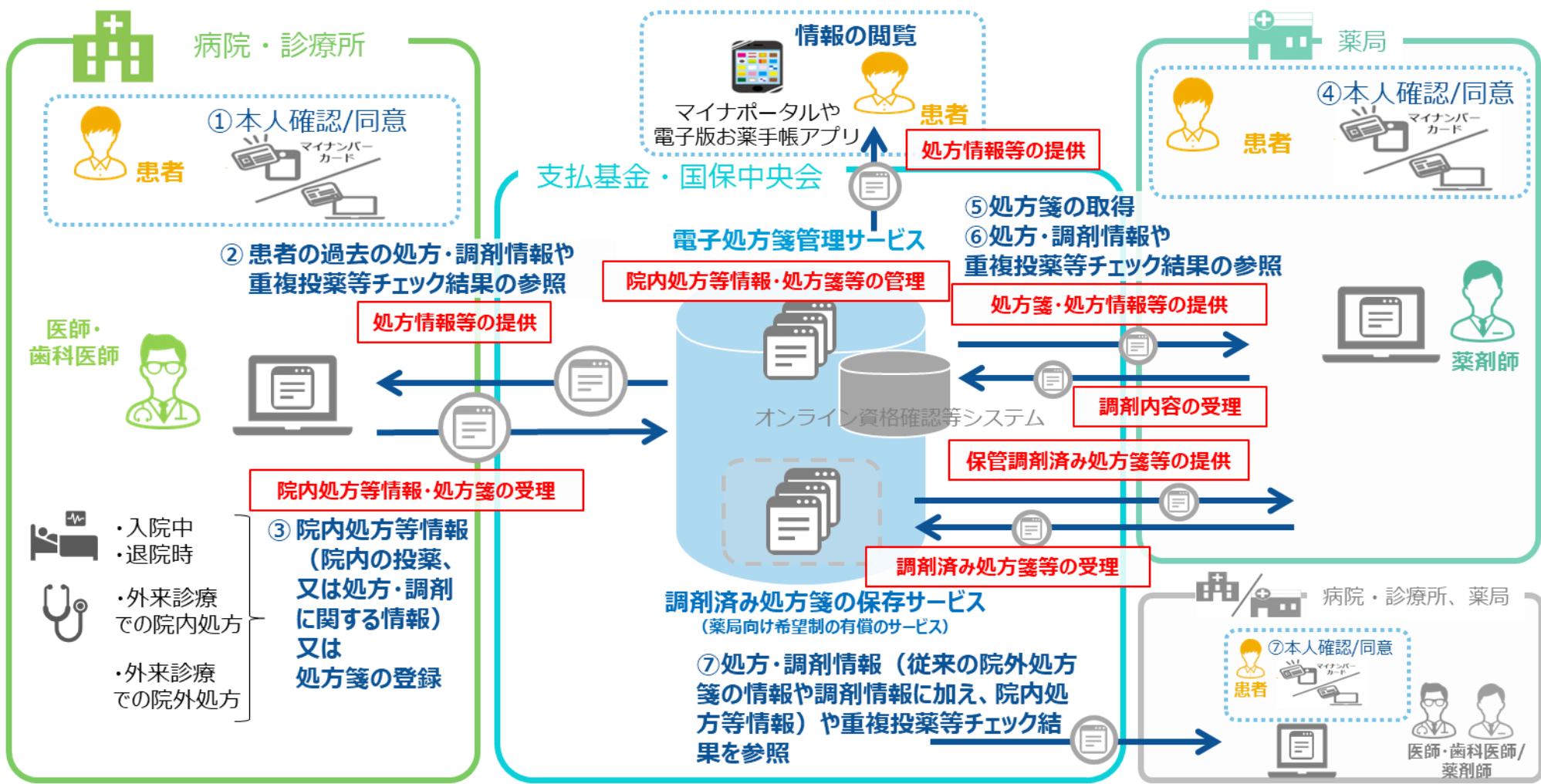
- 「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」第24条第2項各号の規定に基づき、電子処方箋管理サービス等の機能改善に向けたシステム改修を実施するとともに、安定的な運用を図る。

医療保険者から納付される運営負担金	6.6億円	}	計22.2億円を受け入れ、
薬局から徴収する保管手数料	0.1億円		
政府から支払基金に交付される補助金	15.5億円		
上記運営負担金等により、事務取扱費等	22.4億円	を支出することを予定している。	

※受入額（22.2億円）と事務取扱費等（22.4億円）の差額（0.2億円）は、受入金（R5決算剰余金0.3億円）で賄う。

電子処方箋管理勘定 5/6

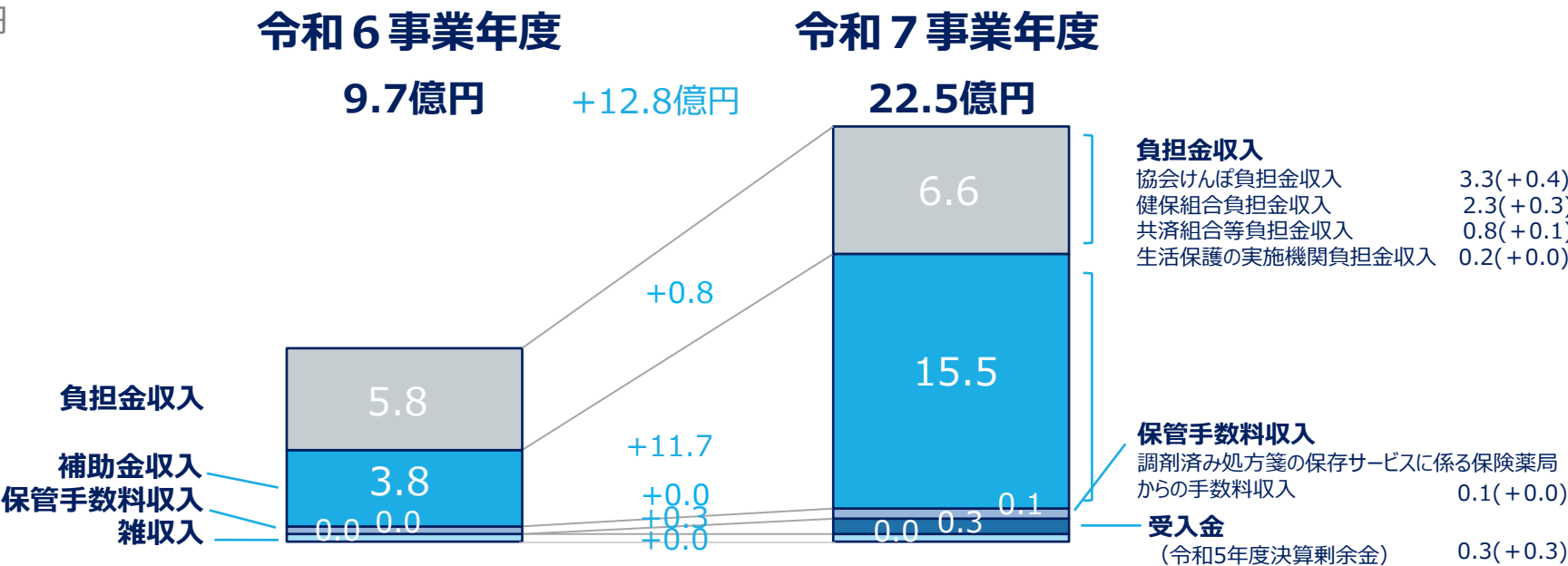
(参考) 電子処方箋管理サービス及び支払基金電子処方箋管理業務の概要



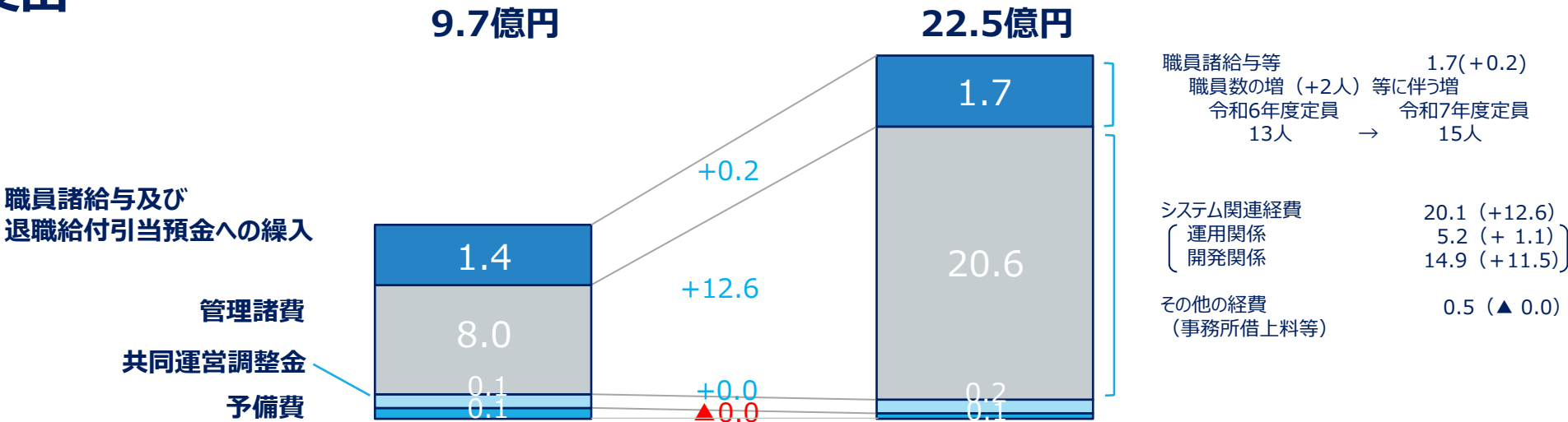
電子処方箋管理勘定 6/6

単位：億円

収入



支出



(参考) 電子処方箋管理勘定

電子処方箋管理業務に係る経費全体は、13.3億円増の26.3億円。
うち、支払基金の電子処方箋管理勘定の予算に計上する経費は、合計22.5億円。

単位：億円（税込）

項番	費目	令和 6 年度					令和 7 年度					差額 ②－①
		①	支払基金			国保中央会	②	支払基金			国保中央会	
			計（電子処方箋管理勘定）		運営負担金	計（電子処方箋管理勘定）		運営負担金				
			運営負担金	手数料/ 補助金		運営負担金			手数料/ 補助金			
1	電子処方箋管理サービス 運用に係る経費	9.2	5.8	5.8	－	3.4	10.7	6.8	6.8	－	3.9	1.6
2	調剤済み電子処方箋の保存 サービスの運用に係る経費	0.0 (4.5百万円)	0.0 (4.5百万円)	－	0.0 (4.5百万円)	－	0.1 (6.3百万円)	0.1 (6.3百万円)	－	0.1 (6.3百万円)	－	0.0 (1.7百万円)
3	機能改善に係る経費	3.8	3.8	－	3.8	－	15.5	15.5	－	15.5	－	11.7
合計		13.0	9.7	5.8	3.9	3.4	26.3	22.5	6.8	15.6	3.9	13.3

注 数値は四捨五入した値を使用。四捨五入の関係により計等が不一致場合があります。

◎ 上記のほか、コンタクトセンター等の運用支援のための費用の一部として
支援基金1.4億円が計上されている。